

令和3年度

事務事業評価表(令和2年度の実績評価)

記入年月日  
令和2年4月15日

Table with columns for '事務事業名' (Project Name), '事業区分' (Business Division), '担当' (Responsible), '政策体系' (Policy System), '事業期間' (Business Period), and '法令根拠' (Legal Basis).

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: '①事務事業の概要(事務事業の全体像)' and '②担当が行う業務の内容・やり方・手順'. Includes text about disaster prevention facilities and business procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table showing KPIs and trends. Columns include '手段' (Means), '対象' (Targets), '意図' (Intent), and various years from 01 to 05. Rows include '新庁舎建設推進本部開催数' and '人口'.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table of input volume and cost trends. Columns: '01年度(実績)', '02年度(実績)', '03年度(計画)', '期間限定総投入量'. Rows include '国庫支出金', '事業費計(A)', '正規職員従事人数'.

02年度事業費 実績(千円)

03年度事業費 予算(千円)

Table of 02 and 03 fiscal year expenses. Columns for '02年度', '03年度', and '合計'. Rows include '12委託料', '08旅費', '12委託料', and '合計'.

事務事業名	新庁舎建設検討事業	事務事業No.	60306001016	所属課	企画課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成17年の合併時には、新市建設計画において、新庁舎については合併後に検討とされている。平成23年の東日本大震災において庁舎が被災し、改めて耐震基準の調査をおこなったところ、大和庁舎東側の新庁舎のみが耐震基準を満たしている状況であった。また、多くの職員が決裁などの事務で庁舎間を移動しているなどのデメリット解消のため、平成29年度より検討委員会が開催されている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
現在、学校の統廃合などが計画されているため、財政面での懸念があるとの意見が出ている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 庁舎の一本化は職員数の適正化や災害時の対策拠点整備も兼ねているため結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 庁舎建設は市の拠点となるため妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 基本計画や設計を行うため、住民視点よりサービス向上の検討及び予算削減などの余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 現在の庁舎を引き続き使用するため、耐震基準を満たしていない庁舎を使用となるため影響がある。	
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 庁舎の代替えとなる施設がない
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 施工方法や現在の庁舎の活用などの検討により削減の余地はある。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 新庁舎の位置などで市民に不均衡にならないようにする必要がある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	新庁舎建設については、平成30年度に桜川市新庁舎建設基本構想を策定した。令和2年度に基本計画を策定する予定であったが、調査等に時間を要し、年次繰越をして作業を進めている。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 令和3年度から企画課内に公共施設建設室を組織し、専任の職員を配置し事業を推進していく。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td>維持</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上	維持	○			維持	低下				低下	低下			
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上	維持	○																								
維持	低下																									
低下	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	①																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>